

LEM21 参加報告

大学院理工学研究科博士前期課程 機械システム工学専攻 2年 林千瑠



はじめまして。
機械システム工学
専攻、清水淳研究
室に所属しており
ます、林千瑠と申
します。私は
放電堆積加工に関

する研究に取り組んでいます。放電堆積加工とは、従来の放電加工および付加製造技術が抱える課題を解決し得る新たな三次元構造創成技術であり、その実用化に向けて、加工条件の最適化や複雑形状の創成に関する検討を行っています。

この度、沖縄県糸満市の「くくる糸満」にて開催された国際学会 LEM21 に参加し、研究成果の口頭発表を行いました。国際学会への参加は今回で2回目となりますが、多くの学びとともに、非常に貴重な経験を得ることができました。本報告では、学会参加を通じて得られた知見や所感について述べます。

LEM21 は、日本機械学会が主催する国際学会であり、モノづくりに関わる幅広い分野の技術者・研究者が一堂に会し、最新技術や研究成果について議論・共有することを目的としています。世界各国から研究者が集まるため、自身の専門分野に限らず、他分野の研究に触れる貴重な機会となりました。今回の発表は2回目の国際学会発表であり、前回の経験を踏まえて臨みました。前回は、英語による質疑応答に苦戦し、十分対応できなかった反省があったため、本学会では発表練習に加え、想定される質問とその解答を事前に準備するなど、質疑応答対策に特に力を入れました。

学会初日は、沖縄に到着後、茨城との気候や景観の違いに新鮮さを感じました。同日夜にはウェルカムレセプションに参加し、他の参加者と交流

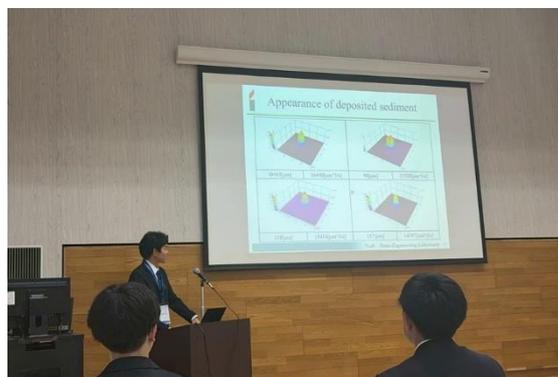


図1 発表の様子

しながら沖縄料理を味わうことができました。

2日目には、自身の研究発表を行いました（図1）。事前準備を十分に行っていたこともあり、適度な緊張感の中で落ち着いて発表を終えることができました。質疑応答では、不慣れな英語ではありましたが、自分なりに質問の意図を理解し、回答することができました。前回と比較して対応力の向上を実感でき、大きな達成感を得ることができました。この経験は、長期間にわたる準備の成果を実感できる、非常に貴重な体験となりました。

その後の日程では、他の参加者の発表を聴講すると共に、空き時間を利用して沖縄の観光も行いました。学会参加を通じて、最新の研究動向や技術開発について学ぶことができると同時に、発表レベルの高さに刺激を受けました。また会場周辺には海が広がっており、沖縄ならではの環境を感



図2 学会会場付近の海の写真



図3 バンケットでの写真

じることができました（図2）。

3日目にはバンケットが開催され、5つ星ホテルの会場にて、沖縄文化を取り入れたパフォーマンスを鑑賞しながらコース料理を堪能しました。バンケットは、学会参加の楽しみの一つであり、普段味わうことのできない豪華な料理や空間を楽しむことができます。今回のバンケットには、泡盛の女王もゲストとして参加しており、記念写真を撮っていただきました（図3）。また、バンケ

ットは参加者同士の交流の場でもあり、隣席となった学生や教授と研究について意見交換を行うことができました。国際的な研究者とのつながりを築く貴重な機会となりました。

本学会への参加を通じて、他分野の研究発表から新たな視点や刺激を得ることができ、自身の研究に対する理解と意欲が一層高まりました。また、国際的な場で研究成果を発表することの意義と達成感を強く実感しました。学生として参加する最後の国際学会発表となりましたが、悔いのない形で終わることができ、非常に有意義な経験となりました。

最後に、これから国際学会発表に臨む学生への助言として、発表準備だけでなく、質疑応答を想定した十分な準備の重要性を強調したいと思います。特に英語に不安がある場合は、事前に司会者へその旨を伝えておくことで、発表しやすい雰囲気を作ることができると感じました。本報告が、今後学会参加を予定している学生の参考になれば幸いです。

本学会への参加にあたり、ご支援を賜りました担当教員ならびに多賀工業会の皆様に心より感謝申し上げます。